

家庭学習の手引き(保護者用)

丹波市立青垣小学校

☆どうして家庭学習をするのでしょうか

- ◎学校で学んだことを定着させるためです。
- ◎毎日家で勉強することを習慣化するためです。

1. 家庭学習をするときは

- ①まずは宿題を
- ②決まった時間に
- ③決まった場所で
- ④机の上をかたづけて
- ⑤テレビを消して
- ⑥つぎに自主学習を

2. 時間のめやす

低学年30分～

中学年45分～

高学年60分～

3. 具体的な進め方

環境づくり

お子さんが落ち着いて学習できるように、家庭学習をする場所を話し合しましょう。決めた場所で学習に取り組めるようにすることが大切です。また、テレビや音楽を消して学習をしましょう。テレビやゲーム、パソコンの時間について約束をつくることも大切です。

学習時間の確保

社会体育・習い事などで忙しい児童もいますが、“机に向かう時間”を確保しましょう。「何時から何時までは学習する」と、よく話し合っ、無理のない時間設定をしましょう。はじめはその通りできなくても、目標を持ってねばり強く取り組ませることが大切です。

見届け・励まし

お子さんが学習したことに声かけ（ほめる・励ます・アドバイス）することで、どんどん意欲が出ます。お子さんの学習の様子を知るためにも、できる限りノートやプリントなどに目を通して下さい。

早寝・早起き・朝ごはん

やる気を出す土台となるのは、規則正しい生活習慣です。早く寝て、早く起き、しっかり朝ごはんを食べることで、脳の働きがよくなり、学習に集中できます。

読書

読書は「心の栄養」と言われ、豊かな心を育むだけでなく、思考力・表現力の基礎を養います。読み聞かせをしたり、親子で共に読書を楽しむ日をつくったりすると、子どもたちにとって読書が身近になることでしょう。家庭読書の日を設定してみてもいいかもしれません。